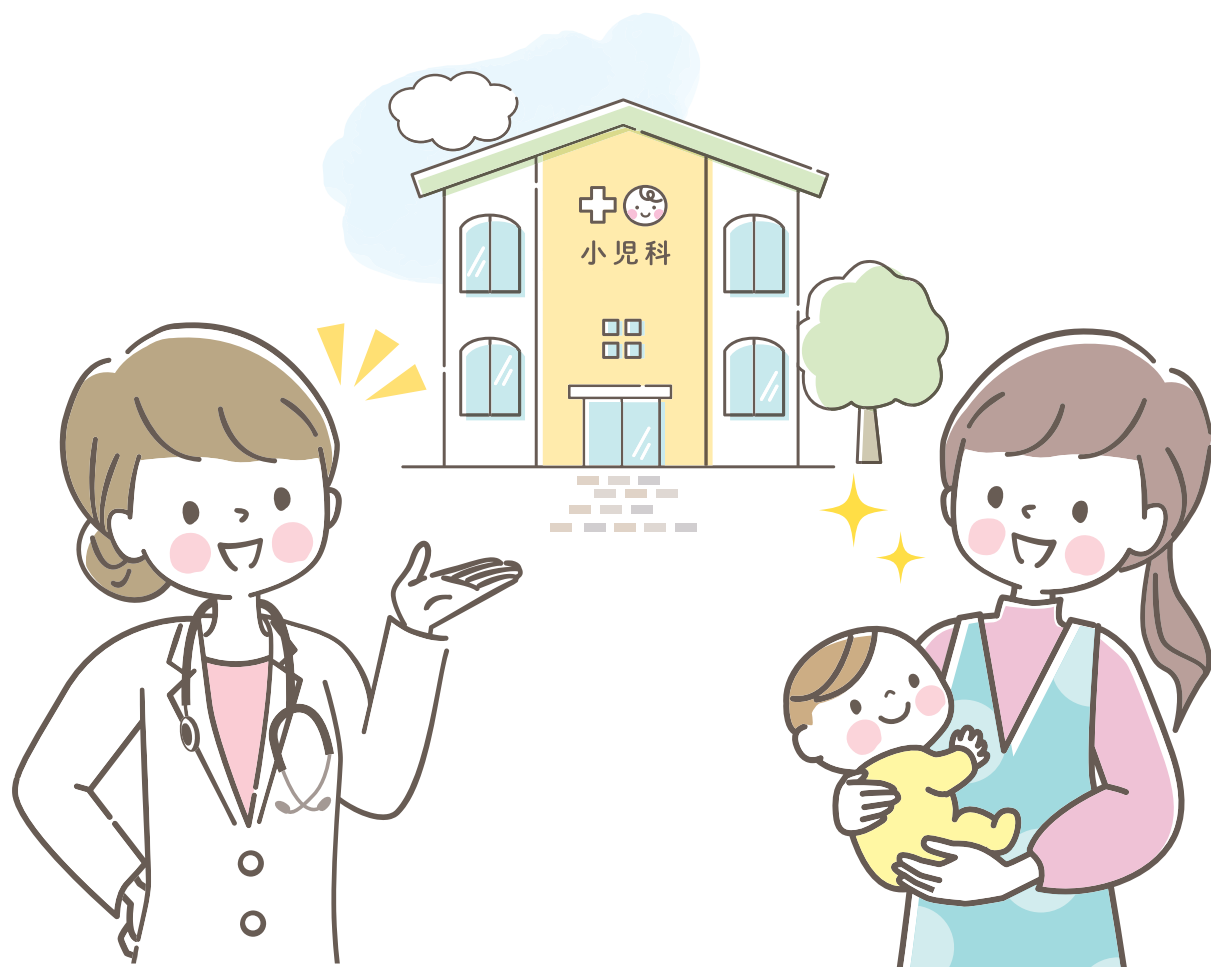


船橋市 小児救急ガイドブック

～いざというときに、あわてないために～



<お願い>ストップ！コンビニ受診

緊急性のない軽症の方が、夜間や休日に救急医療機関に来院し、気軽に治療を求めることを「コンビニ受診」といって全国的にも問題となっています。

船橋市は、人口当たりの小児科医師数が全国的に見てもかなり少ない地域であり、かつ、小児科医師の不足により市内の複数の病院で小児病棟が閉鎖となっています。現状で小児が入院可能な病床は、小児二次救急担当の2病院のみで、合わせても40数床に限られています。

このような状況の中、コンビニ受診が増加すると、救急医療機関が担うべき重症患者への対応が困難となって、早急に治療が必要な患者の対応が遅れる恐れがあるとともに、ひいては小児救急医療体制が、新型コロナウイルス感染症の増加もあり、医療崩壊につながる事態となり得ます。現在でも小児二次救急病院本来の重症な小児患者の診療に支障が出ています。小児二次救急病院は、初期（一次）救急医療機関から紹介を受けた小児患者の診療を行っています。

地域医療を守るため、
適切な受診をお願いします。



発行・編集 船橋市 健康福祉局 健康部 健康政策課
監修 一般社団法人船橋市医師会

令和5年10月発行